

小樽商科大学グローバル戦略推進センター（CGS）教員公募要領

小樽商科大学 CGS グローカル教育部門^(注)において、下記のとおり准教授または講師を公募いたします。

記

1. 担当業務：(1) 高等学校や国内外の大学・教育機関、各種団体等と協働し、ギャップイヤープログラムの提携先の開拓や長期学外学修に関するカリキュラムの開発・運営・教育に関する業務
(2) 主に留学希望者の英語力向上に結びつくプログラム等の開発・運営及び教育・評価・測定等に関する業務
(3) 英語関連科目（TOEFL・TOEIC 対策を担当できることが望ましい）
(4) 基礎ゼミ、グローバルセミナー、グローバルインターシップ、グローバルフィールドワーク等の国際交流科目
(5) 事情科目等の専門共通科目
(6) グローカル教育部門に参画し、関連する会議に出席するとともに、グローバル教育プログラムに係る企画・運營業務を担当すること。
2. 職名・人員： 准教授または講師 1名
3. 任期： 基本的には定めない。業績や経験が浅い場合でも、テニユア・トラック制度（任期5年）での採用と任期中の審査で合格した場合のテニユア付与は可能。
4. 所属： CGS グローカル教育部門
5. 応募資格： 原則として以下の条件を満たすことを求める。
(1) 大学において、国際教育および英語教育の経験を有すること
(2) 大学院博士課程修了（見込み）もしくはそれと同等の研究業績を有すること
(3) 日本語および英語で職務を遂行できる能力を有すること
(4) 下記のいずれかに相当する能力または資格を有すること
TOEIC 900点 / TOEFL ITP 600点 / 実用英検1級
(5) 留学生および日本人学生に対し英語で授業が問題なくできること
(6) 英語による研究業績を有すること
(7) 研究活動（分野は問わない）、教育活動に加え、学内業務（各種委員会および入試業務等）を積極的に遂行できること
6. 採用予定年月日： 令和4年4月1日以降のできるだけ早い時期
7. 給与： 国立大学法人小樽商科大学2号年俸制適用職員給与規程による
8. 応募締切日： 令和4年1月14日（金）17:00
これ以降の応募は選考の対象外となる可能性があります。
9. 応募書類：(1) 履歴書（学歴・職歴・研究・教育業績などがわかる資料。）
(2) 主要学術業績の資料（論文・書籍等。3点以内。電子ファイルが望ましい。）
(3) 日本語・英語を用いた修学歴・職歴，あるいはこれらの言語が使用される機関での滞在歴などを日本語で要約したもの。
(4) 大学院修士課程以上の修了証明書および成績証明書。博士課程在籍者で、博士論文執筆段階にある者は、論文プロスペクトス（20～50ページ程度）の写し。博士課程修了者は、博士論文の写し。
(5) 教育に関する今後の抱負（A4 サイズ用紙，3ページ以内）
特に英語教育及び本学のギャップイヤープログラムに関する視点を加えること。
(6) 今後の研究計画（A4 サイズ用紙，3ページ以内）

*これらの書類の書式は自由です。(3)は日本語で、それ以外の書類は日本語または英語で作成してください。審査の状況により、履歴書(本学所定の様式による)、教育研究業績表(本学所定の様式による)、学部の卒業証明書、学部の成績証明書、推薦状、英語能力を証明できる書類、顔写真等の提出を願うことがあります。

*上記(1)の本学所定の様式は下記webページから取得できます。

<https://www.otaru-uc.ac.jp/summary/employment/>

10. 選考方法: 提出書類を书面審査のうえ、面接および模擬授業を対面またはオンラインで行います。

11. 書類提出先: 応募書類はEメールにより送付してください。

Eメール: jinji@office.otaru-uc.ac.jp

※件名を「CGS グローカル教育部門担当教員応募」とし送信してください。

*上記の方法で提出できない書類がある場合は、その書類のみ別途、下記の要領で郵送してください。

・郵送先: 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学長宛

・封筒のおもて面に「CGS グローカル教育部門担当教員応募書類」と朱書きし、書留便にしてください。

12. 連絡先: 総務課人事係 TEL: 0134-27-5208 FAX: 0134-27-5213

E-mail: jinji@office.otaru-uc.ac.jp

13. その他: ・本学は男女雇用機会均等法を遵守し、育児支援型勤務時間体制を導入しています。
・提出書類は原則として返却しません。履歴書等の個人情報に関わる書類は、審査終了次第、廃棄いたします。

注) CGSとはグローバル戦略推進センター(Center for Glocal Strategy)の略であり、グローバル教育部門、教育支援部門、産学官連携推進部門、及び研究支援部門からなる。さらにグローバル教育部門は、グローバル教育専門部会と社会連携実践専門部会とに細分される。CGS グローカル教育部門の詳細については、下記webページの特に「グローバル教育プログラム」及び「留学プログラム」をご覧ください。<http://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/ged/> (今後、組織や規程の変更の可能性もあります。)

※【参考】CGS グローカル教育部門は、部門の予算や人事等に関する審議の他、以下の業務を行います(令和元年5月1日現在)。

- (1) グローカルマネジメント専攻プログラム(GMP)および短期留学プログラムに関すること。
- (2) 学生国際交流の実施に関すること。
- (3) 国際交流会館の管理運営に関すること。
- (4) 長期学外学習プログラムに関すること。
- (5) 他機関と連携する留学プログラムに関すること。
- (6) その他、グローバル教育に関して必要なこと。

※【参考】CGS グローバル教育専門部会は、主に以下の業務について企画・運営します(令和元年5月1日現在)。

- (1) 短期留学プログラムに関すること。
- (2) グローカルマネジメント専攻プログラム(GMP)に関すること。
- (3) 日本語教育に関すること。
- (4) 国際交流科目に関すること。
- (5) 留学生の就学指導等に関すること。
- (6) 派遣留学に関すること。
- (7) ギャップイヤープログラムに関すること。
- (8) 国際交流会館の管理運営に関すること。
- (9) その他グローバル教育に関すること。